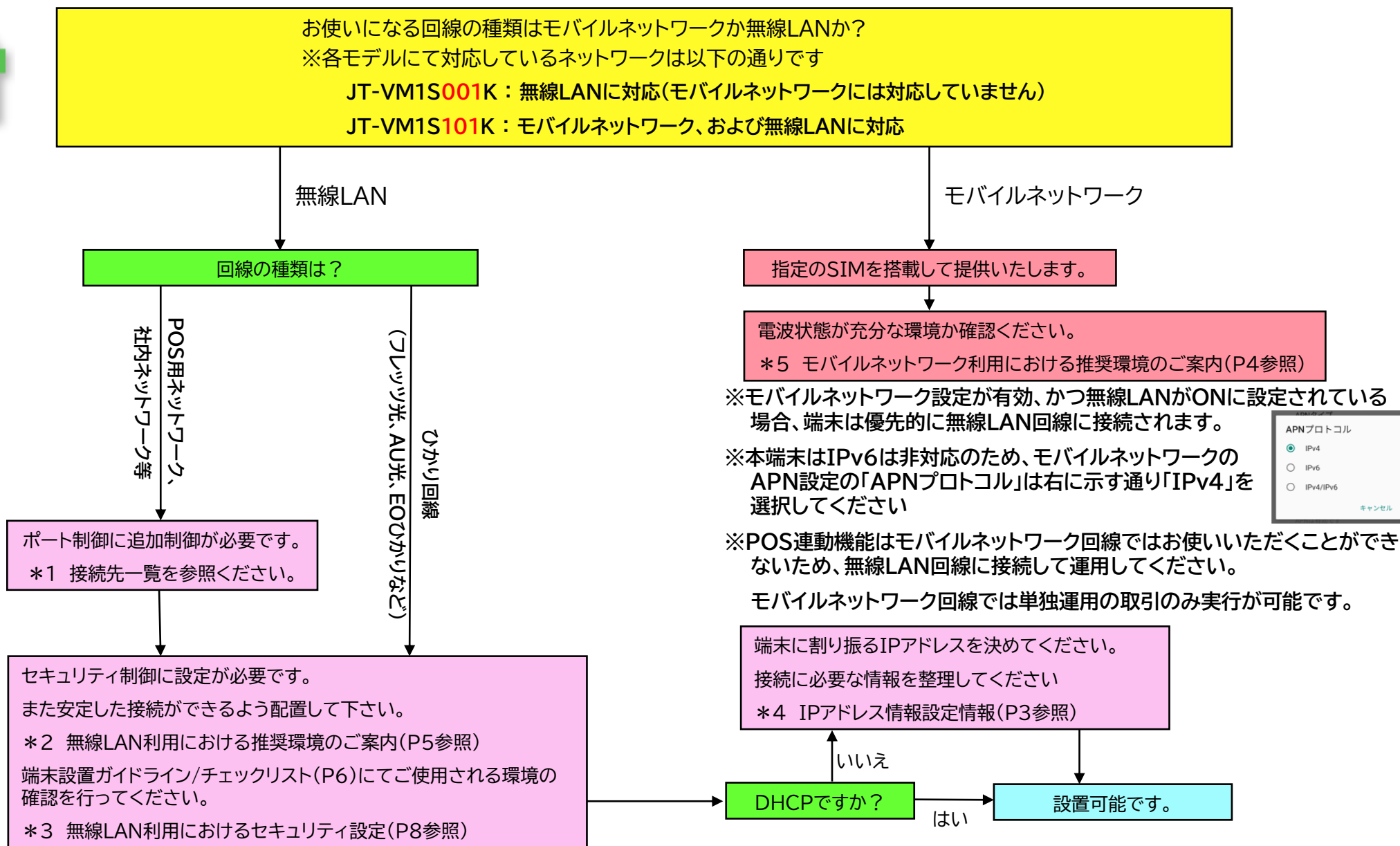


stera terminal mobile (JT-VM1S) ネットワークについての確認事項

2025年4月2日 1.1版

パナソニック コネクト株式会社

JT-VM1S ネットワーク環境チェックシート及び注意事項



※本端末はIPv4の対応となります。IPv6は対応不可の端末でございます。ご注意願います。

IPアドレス情報設定情報

ネットワーク設定	設定項目	設定の説明
IP設定（DHCP）	—	DHCPサーバがIPアドレスを自動的に付与します
IP設定（静的）⇒手動で設定することになります	IPアドレス	本機のローカルIPアドレス
	ゲートウェイ	接続環境のゲートウェイ
	ネットワークプリフィックス長	ネットワーク部のビット長。例えば255.255.255.0であれば24、255.255.255.240であれば28になります。
	DNS 1（プライマリ）	プロバイダ契約あるいは企業内のDNSサーバアドレス、有線DNSサーバともいいます
	DNS 2（セカンダリ）	代替DNSサーバともいいます（任意設定項目）

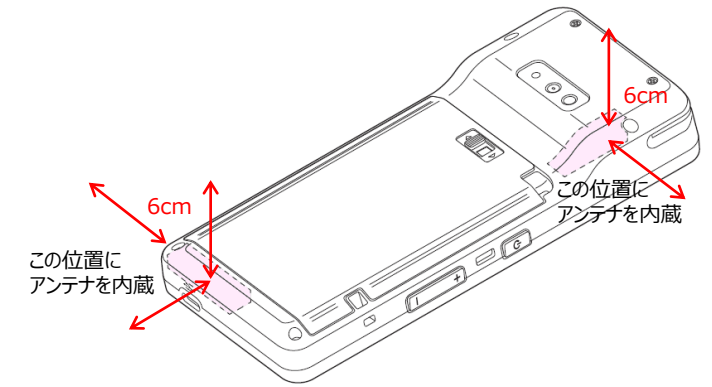
※JT-VM1SはAndroid OSのため、プロキシ設定がございますが、電子マネーの接続先の制約によりプロキシサーバー経由の通信はできません。ご注意くださいようお願い致します。



プロキシ設定は「なし」で端末の設定をお願いいたします。

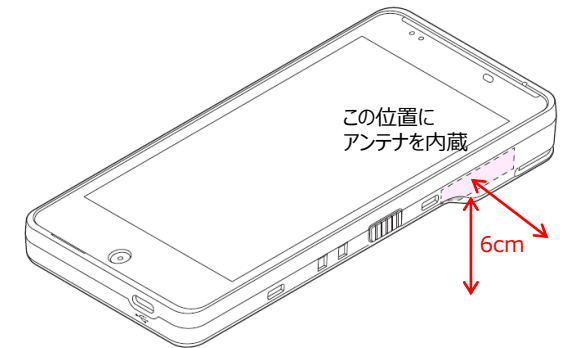
モバイルネットワーク利用における推奨環境のご案内

- 端末周囲に金属物など電波の妨げになるものを極力近づけないようにし、端末のアンテナがある位置の端末側面から、概ね6cm以上離して使用してください。
また、使用時はアンテナ部をなるべく手で覆わないように注意してください。
端末は、右図赤枠の箇所にモバイルネットワークアンテナが内蔵されています。
- 端末のモバイルネットワークアンテナバー表示が、必ず電波強度が充分な状態であることをご確認ください。



無線LAN利用における推奨環境のご案内

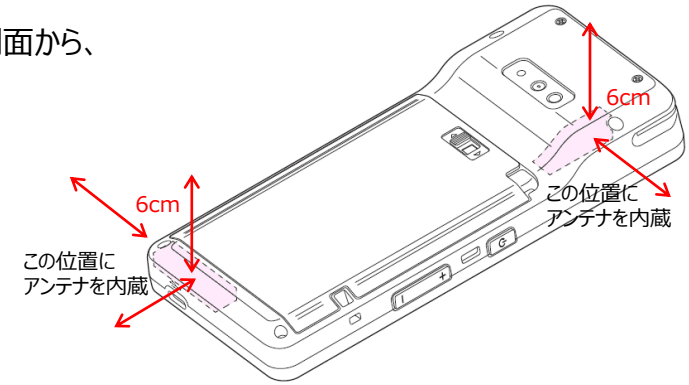
- Wi-Fiルーターはできるだけ壁や床に密着させず、見通しの良い場所に設置してください。
- Wi-FiルーターからJT-VM1S端末(以下、端末)の距離はなるべく1m以上、20m以内で使用するようしてください。遠くなると電波が弱くなり、通信が不安定になる場合があります。
また、近すぎる場合には電波が強くなりすぎるため、通信が不安定になる場合があります。
- 端末側面のアンテナ内蔵位置から、金属等を概ね6cm以上離して使用してください。
アンテナの周囲に金属などがあると、電波が弱くなり通信が不安定になる場合があります。
また、使用時はアンテナ部をなるべく手で覆わないように注意してください。
端末は、右図赤枠の箇所に無線LANアンテナが内蔵されています。
- 5GHz Wi-Fiルーターを使用することを推奨します。
Wi-Fiで多く使用されている2.4GHzの周波数帯は、電子レンジ、Bluetooth機器、コードレス電話、リモコンなどの機器でも多く使用されております。また、自店舗内または近隣で使用しているWi-Fiのチャンネルが重複あるいは近接している場合も、接続が不安定になる可能性があります。
これらの機器の干渉が多い環境では、Wi-Fiルーターを5GHz対応のものに替えると、他の機器との干渉を避けられます。5GHz帯対応機器が比較的少ないこと、「各チャンネル周波数が離れて設定されているため、同じ5GHz帯同士の機器でも干渉がおきにくい」という特長があります。
- 設置環境によって、以上のような改善が難しい場合は、モバイルネットワークでのご使用を推奨します。



端末設置ガイドライン/チェックリスト

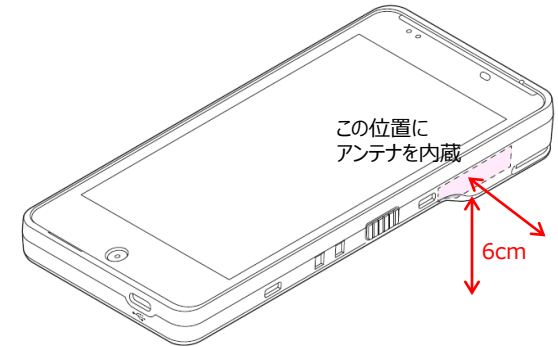
●モバイルネットワーク使用時

- 端末周囲に金属物など電波の妨げになるものを極力近づけないようにし、端末のアンテナがある位置の端末側面から、**概ね6cm以上離して**使用してください。
また、使用時はアンテナ部をなるべく手で覆わないように注意してください。
- 端末のモバイルネットワークアンテナバー表示が、必ず電波強度が充分な状態であることをご確認ください。
(次ページ参照)



●無線LAN使用時

- Wi-Fiルーターと端末は、同一部屋内への設置を推奨いたします。
- Wi-Fiルーターはできるだけ壁や床に密着させないようにして離し、見通しの良い場所に設置してください。
- JT-VM1S端末(以下、端末)とWi-Fiルーター間の距離は、(Wi-Fiルーター側の性能にもよりますが、目安として)なるべく**20m以内、且つ1m以上の位置**で使用することをおすすめします。
- 端末周囲に金属物など電波の妨げになるものの極力置かないでください。
金属物などの遮蔽物を置かざるを得ない場合、端末のアンテナがある位置の端末側面から、**概ね6cm以上離すように、して**使用してください。
また、使用時はアンテナ部をなるべく手で覆わないように注意してください。
- 2.4GHz帯は、チャンネル干渉が発生しやすく、お客様持ち込み機器との干渉も考えられるために使用を推奨致しません。
5GHz帯のご使用を推奨致します。
- 5GHz帯を利用する場合、W52の使用を推奨致します。
※W53、W56をご使用された場合、屋外のレーダー波の検出時に、DFSにより無線LAN通信が不安定になる可能性があるため
- 端末の無線アンテナ表示が、必ず電波強度が充分な状態であることをご確認ください。(次ページ参照)



●**設置環境によって、以上のチェック項目を満足できない場合は、モバイルネットワークのご使用を推奨します。**

JT-VM1S ネットワーク接続ステータスアイコン

- モバイルネットワーク、無線LAN通信時は、下記ステータスアイコンの例に示す通り、アンテナバー表示の電波強度が充分な状態であることをご確認ください

■ステータスアイコン

表示		電波の状態	取引
モバイルネットワーク	無線LAN		
		良好	取引を行うための十分な電波強度があります。
		良好	
		やや弱い	電波状態の良好な場所に移動してください。 条件によって取引ができない場合があります。
		弱い	
		サービスエリア外 (圏外)	電波状態の良好な場所に移動してください。 取引できません。
		未接続	
—		現在の無線LANの設定では外部ネットワークに接続できない場合があります。	ネットワーク設定の管理者へお問い合わせください。 取引ができない場合があります。

※ アンテナ表示は電波状態により異なります。

無線LAN利用におけるセキュリティ設定

●暗号化による対策

無線LAN利用の際には暗号化を実施してください。本端末は暗号化方式としては、WPA2-Personal/Enterpriseのみをサポートしています。プリシェアードキーを設定する際には、英数記号を組み合わせたランダムな文字列で最低20文字以上とすることを推奨します。

●アクセスポイントSSIDのステルス化による対策

SSIDをステルス化し外部から無線ネットワークの存在を秘匿化することを推奨します。

●端末認証による対策

悪意のある第三者による不正侵入を防止するためにアクセスポイントによるMACアドレスフィルタや認証機能等を利用する対策も推奨します。なお機器の故障交換時に再登録が必要になりますので、再登録の手順等の共有、文書化を推奨します。

●ネットワーク機器のファームウェアの最新化

アクセスポイントやルーター等のファームウェアは最新バージョンに更新してからお使い下さい。

●ネットワーク機器の管理者パスワードの変更

ネットワーク機器の管理者アカウントのパスワードは既知の場合が多いため運用前に必ず変更した上でお使いください。

●ネットワーク機器に接続している端末や機器同士のアクセス

ご使用されるネットワーク機器によっては接続されている機器または端末同士のアクセスを禁止する機能（例：プライバシーセパレータ）が搭載されています。

ネットワーク機器を経由して端末同士のアクセスを利用する機能※をご使用の際には端末同士のアクセスが行えるようネットワーク機器の当該機能の設定をOFFにしてお使いください。

※無線LAN経由でPOSと連動する場合、stera terminal standardと機種連帯機能を利用される場合

The background is a dark blue field filled with various geometric shapes in lighter shades of blue, including squares, rectangles, and semi-circles, some of which are partially overlapping. The shapes are scattered across the entire frame, creating a complex, abstract pattern. The bottom of the image features a white curved border.

Panasonic CONNECT